

(令和6) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (音羽) 児 童 館

		活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題	
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人			
子ども育動	基本活動	(3)子ども未来食堂	24	43	66	137	4	38	0	43	0	0	0	331	月に2回こども食堂を開催。小学生対象に土曜日や学校長期休みに昼食を提供。今年度からは乳幼児親子対象に子育てイベントに合わせ軽食を提供。様々な献立で食事を楽しむ。	同じ献立をみんなで食べることにより、仲間意識を深めることができた。乳幼児親子の交流の場として活動できた。
		(2)つくってみよう会	13	15	71	84	1	27	5	13	0	0	0	216	幼児から小学生までを対象に、毎月1回の工作行事。季節感も考慮して内容を設定し実施。	こども未来食堂と組み合わせて実施することで、様々な年齢や学年の参加があり、工作遊びを展開できた。
		(3)避難訓練	8	7	1	218	1	48		7	0	0	0	282	災害時に備えて毎月1回、避難訓練を実施。	様々な想定で訓練することができた。
		(3)防犯訓練	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	山科署生活安全課からお越しいたき、職員向けの防犯訓練及び、さすまたの使い方や護身術など身の守り方を学ぶ。	専門的な視点で教えていただいた。月1回程度、朝礼時に護身術を職員間で行っている。
		(3)フレンドリーデー	6	0	4	90	1	12	0	0	0	0	0	107	様々な種類の集団遊びを2カ月に1回実施。集団遊びを通し縦割り交流を深める。	様々なあそびを体験することができ異年齢集団の交流ができた。
		(1)卓球デイ	22	0	16	53	6	16	3	0	0	0	0	94	卓球に親しめるよう、小中高生の活動。	土曜日開催の為、人数は少なかったが、初めて卓球をする子も練習を重ね、楽しむことができた。
		(3)将棋大会	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	第12回「京都子ども将棋交流大会」に参加する。会場は北野天満宮。代表児童2名が参加した。	将棋クラブでの成果を試す良い機会となった。「繋がる楽しみ、喜び」を得ることができた。
		(4)将棋クラブ	25	0	25	89	13	13	0	0	0	0	0	140	今年度から実施。月2回登録制のクラブ活動。将棋講師から礼儀作法や対局の実践指導を学ぶ。	将棋大会に向けて対局練習を積み重ねることができた。将棋大会が終わってからは、児童の意欲の継続が難しい時期もあった。
		(4)おとガーデン	35	0	7	93	0	0	0	0	0	0	0	100	今年度から実施。登録制のクラブ活動。さつまいもや季節の草花を育てる活動をする。	さつまいもの収穫を目標に異年齢間の交流を持つことができた。児童たちからやりたいことの意見を聞ける場となることができた。
		(4)おりがみクラブ	24	0	103	0	0	0	0	0	0	0	0	103	今年度から実施。登録制のクラブ活動。季節にあったテーマで折り紙を使って製作する。	一年を通して、折り紙の技能の上達が見られた。作品を壁面飾りにして活動目標をもちながら活動することができた。
		(3)夏まつり スタッフ会議	10	0	0	0	9	34	0	0	0	0	0	43	夏まつりに向けて、企画内容や準備を行う。	夏休み期間を利用しての会議を重ね、児童の自主性を育むことができた。
		(3)夏まつり	1	16	8	31	5	8	1	24	0	0	3	96	児童館内や地域文化センターで、遊びや工作のコーナーを設置して実施。	どのコーナーも楽しんで参加している様子が見られた。高学年スタッフの企画・手伝いの活躍の場となった。
(5)駄菓子屋 スタッフ会議	3	0	4	7	0	3	0	0	0	0	0	14	「洛和グループホーム山科小山」での幼老交流に向けて、準備を行い、高齢者さんとの交流内容を学ぶ。	小学3年生からスタッフを募集し、目的を持って取り組むことができた。		
(5)駄菓子屋	1	0	5	0	0	1	0	0	0	0	0	6	「洛和グループホーム山科小山」で、利用者さんと幼老交流、駄菓子屋と遊びのコーナーを設置して展開。	スタッフの発表の場として「虹」の曲を歌い、子どもスタッフとしての活躍の場となった。		
(3)じどうかんまつり スタッフ会議	2	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	じどうかんまつりに向けて、企画内容や準備を行う。	準備や企画内容の話し合いなどを通して、児童の自主性を育むことができた。	

成 機 能	(3)ハロウィン週間 仮面作り	1	0	3	31	0	5	0	0	0	0	0	39	ハロウィンの遊びや工作を4日連続実施。1日目は、スパンコール等で装飾し、オリジナルの仮面を作成。	作ることも、作った仮面を身につけることも楽しむことができた
	(3)ハロウィン週間 マント作り	1	2	7	30	0	2	0	1	0	0	0	42	ハロウィンの遊びや工作を4日連続実施。2日目は、カラーポリ袋にペンで絵や文字を描きマントを作成。	日に日にハロウィンが盛り上がる様子があった。作ったマントを身につけてもらい、特別感のあるハロウィンになった。
	(3)ハロウィン週間 ハンドペインティング	1	7	42	0	6	0	0	0	0	0	0	55	ハロウィンの遊びや工作を4日連続実施。3日目は、フハンドペイントコーナーを展開し、職員がハロウィンのペイントを実施。	日に日にハロウィンが盛り上がる様子があった。手の甲にペイントをしてもらい、特別感のあるハロウィン取組を行うことができた。
	(3)ハロウィン週間 謎解きゲーム	1	0	3	40	0	5	0	0	0	0	0	48	ハロウィンの遊びや工作を4日連続実施。最終日はハロウィンに関する謎解きゲームを実施。	友達と協力して、クイズをさがしたり解いたりする様子があった。ハロウィン週間を通して、様々な遊び体験と機会をつくることができた。
	(3)クリスマス スタッフ会議	5	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	9	クリスマス会に向けて、企画内容や準備、パネルシアターの練習を行う。	スタッフの募集をするが、思うような人数が集まらなかった。次年度は、子どもの意見を取り入れながら進めていきたい。
	(3)クリスマス会	1	0	10	46	3	9	1	2	0	0	0	71	音羽小学校ふれあいルームを使用して、児童の発表やゲーム遊びを実施。	楽しんで参加している様子が見られたが、子どもにニーズに沿った行事設定に次年度はしていく。
	(3)ドッジボール大会 スタッフ会議	4	0	0	9	0	5	0	0	0	0	0	14	ドッジボール大会に向けて、企画内容や準備を行う。	児童は、習い事やまなび教室、小学校の部活などで会議の日程調整が難しかった。
	(3)ドッジボール大会	1	0	5	44	1	8	0	0	0	0	0	58	音羽小学校運動場を使用して、チームに分かれてドッジボールを実施。児童のアンケートでドッジボールを行うことになり、高学年スタッフが企画、運営を行った。	どの学年も楽しんでドッジボールを行う姿が見られた。高学年スタッフの企画、手伝いの活躍の場となった。
	合 計	191	90	380	1003	60	244	10	93	0	0	3	1877		
	推 進 活 動														
子ども育成機能 合 計		191	90	380	1003	60	244	10	93	0	0	3	1877		

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

		(令和6) 年度 参 加 人 数 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (音羽) 児 童 館															
		活動名	実施回数	乳幼児		小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア			合計	内 容	成 果 と 課 題
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ	中高生	大学生			大人					
子 ど も 家 庭 支 援 活 動	基 本 活 動	(1)①おとわのぼんび	23	71	0	0	0	0	0	71	0	0	0	142	1歳から就学前を対象とした年間登録制の幼児クラブ。 手遊びや体操、ふれ合い遊び、季節の工作や遊びを展開。	クラブ活動を通して、親同士、子同士、 また親子同士で関係性が深まった。良い 交流ができた。	
		(1)①おとわのこりす	21	81	0	0	0	0	0	89	0	0	0	170	0歳から1歳未満を対象とした年間登録制の乳幼児クラブ。 手遊びや体操、ふれ合い遊び、季節の工作や遊びを展開。	クラブ活動を通して、親同士、子同士、 また親子同士で関係性が深まった。良い 交流ができた。	
		(1)①おとわっこ	22	103	0	0	0	0	0	117	0	0	0	220	0歳から就園前を対象とした年間登録制の乳幼児クラブ。 バランスストーンやボールプール等の遊具で運動遊びを展開。	家庭ではできないようなダイナミック遊 びなど色々な遊びを体験できた。また親 子間で良い交流ができた。	
		(2)消防フェスタ、避難訓練	1	43	8	4	1	4	0	44	0	0	0	104	親子で避難訓練や初期消火訓練、防火衣着用体験や消防車見学 など防災に意識を持ってもらう取組。山科消防署大塚出張所と 連携取組。	多くの参加があったが、当日、消防車出 動要請があったため、内容を一部変更し て実施した。	
		(2)親子で交通安全教室	1	5	0	0	0	0	3	8	0	0	0	16	乳幼児親子向けに交通ルールや、横断歩道の渡り方を学んでも らう取組。山科署交通課と連携取組。	幼児の交通ルールや安全に道を歩くル ール等、親子で参加し学びの場となるこ うができた。	
		(2)南殿幼稚園の先生と いっしょにあそぼう	1	6	0	0	0	0	0	6	0	0	0	12	親子参加で活動できるプログラムに沿って集団で遊ぶ楽しさ を感じてもらう取組。近隣の南殿幼稚園と連携取組。	発達年齢に即した活動プログラムで展開 することができた。日程調整が難しい が、年1回は引き続き実施。	
		(2)親子でふれあい音遊び	1	13	0	0	0	0	0	13	0	0	0	26	親子で音や楽器に触れ、音楽療法を通して子育て支援を実施。 音楽療法士と連携取組。	幅広い親子参加があり、音楽や楽器に触 れる機会をつくることができた。	
	合 計	70	322	8	4	1	4	3	348	0	0	0	690				
		(3)子育て家庭相談・援助 活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容				件数	つないだ機関等		件数
			乳児 幼児 小1～3年（自由来館） 小1～3年（学童） 小4～6年（自由来館） 小4～6年（学童） 中学生 高校生		児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { }					健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { }					児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他{ }		
件数 計				—					—					—			
グループ名			構成人数	活 動 内 容				育成・支援内容				成果と課題					
	(4)子育てグループを育成 ・支援する活動																
推 進 活 動	(5)子育てと健全育成に関 する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容										成 果 と 課 題			
		おたより配布 お口のホームケア ベビーマッサージ 学童クラブ入会説明会 自由来館一般アンケート	12 1 1 1 1	月1回、児童館だより（2部）を音羽学区の町内で回覧版で啓発活動。 6月に実施。歯科衛生士を講師に歯のホームケアについて保護者が学ぶ。 3月に実施。ベビーマッサージを通じて、母親支援の取組活動。 3月に実施。子どもの健全育成推進活動。 子育ての状況や地域、児童館の課題についてアンケートを実施。										地域住民の方々に広く啓発することができた。 子育てに関する情報を発信することができた。 子育ての中心を担っている母親支援につなげることができた。 学童期の子育て支援を発信することができた。 アンケート調査結果から、課題や状況の発信を次年度は行う。			

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動]（2）家族参加を促す活動に分類して記入すること。

(令和6) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(音羽) 児 童 館

地域福祉促進機能	基本活動	(1) 地域住民との交流を促進する活動	活動名	実施回数	主 催	参 加 人 数							連携団体	成果と課題	
						乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人			合 計
							自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
			地域実践活動	23	京都府東総合支援学校 京都市音羽児童館	0	0	0	0	0	43	18	104	京都府東総合支援学校	東総合支援学校高等部の学生さんたちが、実践的な活動をまなぶ場として貢献できた。
			おとわ児童館まつり	1	京都市音羽児童館	16	19	6	10	2	2	34	91	音羽学区民生員協議会 京都薬科大学ボランティアサークル Friwilly	今年度、当館で初めての取組となる。連携を図り、児童館を理解してもらった活動ができた。
			ビジョントレーニング研修	1	京都市音羽児童館	0	0	0	0	0	0	13	13	永興小金塚こども園	地域子育て支援ステーション事業の一環として職員向け研修を実施することができた。
			ふれあい昼食会参加	1	音羽学区社会福祉協議会	0	0	2	0	0	0	0	2	音羽学区 社会福祉協議会 音羽学区 民生委員協議会	音羽学区の取組におりがみクラブの児童が参加。折り紙の作品をプレゼントし、地域の方々と交流ができた。
			おとわハッピークリスマス会	1	京都市音羽児童館	11	0	0	0	0	0	15	26	永興小金塚こども園 音羽学区 民生委員協議会	地域子育て支援ステーション事業の取組として実施。各団体と連携してクリスマス会が実施できた。
			合 計	19	—	27	19	8	10	2	45	80	236		
	活動推進	(2) ボランティア活動の推進	活 動 内 容			活 動 人 数				成 果 と 課 題					
中高生						大学生	大 人	合 計							
					京都橘大学 キャリアゼミ ボランティア活動		10		10	大学生を受入、児童館の実際を学ぶ場として、貢献できた。 洛和会京都看護学校の学生を受入、乳幼児期や学童期の育成について学ぶ場として貢献できた。					
					看護学校生実習		30		30						
					合 計		40		40						
	機能	(3) 地域との連携を促進する活動	連 携 団 体 等	連 携 内 容							成 果 と 課 題				
			音羽学区自治連合会	団体長と意見交換、年間行事報告をおこなった。							児童館の役割と機能、活動内容にご理解いただく。今後もより良い関係づくりと連携を図る。 児童館の役割と機能、活動内容にご理解いただく。今後もより良い関係づくりと連携を図る。 随時連携を図り、関係を深めることができた。今後もより良い関係づくりと連携を図る。 情報交換や行事の参画、意見交換をして関係を深めることができた。地域子育て支援ステーション事業としての連携を図る。 乳幼児の取組で参画協力。日程調整がお互い難しく次年度の実施回数年1回に見直し、今後も継続。 今後も地域実践活動の活動の場として清掃活動と乳幼児親子との交流を通して連携し、貢献していく。 意見交換や情報共有など連携ができた。今後も連携を図る。 今後も防災の取組で協力連携し、行事を進めていく。				
			音羽学区民生員協議会	毎月児童館だより配布。毎月会議で児童館や地域の情報交換を行った。児童館行事のお手伝いに協力参加。											
			音羽小学校	随時情報共有・学校行事の参観を行った。											
			永興小金塚こども園	連携・情報交換を行った。地域子育てステーション事業の連携として会議や研修、行事のお手伝い協力参加。											
			南殿幼稚園	幼稚園の先生と協力して乳幼児の取組。連携・情報交換を行った。											
			東総合支援学校	地域実践活動の連携協力を行った。											
			元気スポット0-3	児童館だよりの交換を行った。											
	山科消防署 大塚消防出張所	防災の取組で協力連携。													

(令和6) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(音羽) 児 童 館

地 域 福 祉 促 進 機 能	基 本 活 動	(4) 児童館を支える地域 組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度		議題／取組内容		成果と課題	
			京都市音羽児童館運営協力会		音羽学区自治連合会 音羽学区社会福祉協議会 京都市立音羽小学校 京都市立音羽小学校PTA 音羽民生協議会 音羽消防分団長 音羽少年補導委員長 音羽防犯推進委員長 音羽交対協音羽支部長 音羽老人クラブ長 永興小金塚こども園		年4回 (5、7、11、2月)		児童館事業取組内容報告 学童クラブ事業取組内容報告 年間行事計画 意見交換		各関係機関との関係性の継続を 図ることができた。 児童館の取組について理解を得 ることができた。 今後も、日々の取組や会議を通 じて関係性を深めていく。	
	推 進 活 動	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使 用 目 的		提供先（団体・機関等）		成果と課題			
		(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体		調査方法		成果と課題		

(令和6) 年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(音羽) 児 童 館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	音羽児童館だより 乳幼児親子・地域の方 小中高生	月1回	音羽児童館利用者 音羽民生協議会 音羽学区住民	来館時配布 ホームページ掲載 Instagram投稿 館外掲示 町内回覧	児童館行事 乳幼児クラブ日程、取組内容	紙面での配布も行いながら、時代に合わせて、ホームページやInstagramを活用した広報活動も進め、児童館の行事や取組内容を広報することができた。。
	乳幼児クラブ申込用紙	年間通じて	乳幼児親子 地域住民 音羽民生協議会	来館時配布 ホームページ掲載	乳幼児クラブ登録募集	児童館だよりを見て、乳幼児クラブの見学来館が多かった。募集を募ることができたが、児童館だよりと同等の広報活動が必要だった。
	行事ポスター ・こども未来食堂 ・子育て講演会「歯のお話」 ・夏まつり ・消防フェスタ ・じどうかんまつり ・ハロウィン週間 ・クリスマス会 ・親子でふれあい音あそび ・ドッジボール大会	開催月	乳幼児親子 児童 地域住民	館内ポスター掲示 館前ポスター掲示 来館時配布 ホームページ掲載 Instagram	行事の参加案内	子育て家庭の保護者に対して、Instagramやホームページ等のネット広報で行事の情報発信をタイムリーに行うことができた。 児童に対しては、来館時に声を掛けてチラシの配布を行い、行事への参加者を募ることができた。